

令和6年度
第3年次学生募集要項

令和7年度
第3年次学生募集要項

(令和6年度商船高等専門学校及び高等専門学校の商船学科卒業見込者)



豊橋技術科学大学

お知らせ

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の対応として、内容を変更することがあります。変更する場合は、本学ウェブサイト (<https://www.tut.ac.jp/exam/news.html>) に掲載します。

豊橋技術科学大学工学部入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)

豊橋技術科学大学は、技術を支える科学を探究し、より高度な技術を開拓する学問としての“技術科学”の教育・研究を使命としています。この使命のもと、本学では学部・大学院一貫教育に重点を置いた特色ある技術科学教育を通じて、豊かな人間性と自然と共生する心を持ち、グローバルに活躍できる実践的・創造的・指導的能力を備えた技術者・研究者を育成します。

このため、本学では次のような人物を広く求めます。

1. 人と自然を愛し、地域社会やグローバル社会の発展に貢献する志を持つ人
2. 技術や科学を探究する志を持ち、それらの学習に必要な基礎学力がある人
3. 自ら積極的に学び、考え、行動し、技術科学の新しい地平を切り拓く志を持つ人

各課程の入学受入方針(アドミッション・ポリシー)

〔機械工学課程〕

機械工学課程では、機械工学の基盤となる力学、制御、システム工学、材料工学、生産加工学、エネルギー変換工学等の諸学問について基礎的知識を持ち、それらの知識を「ものづくり」に展開できる意欲と能力を持った実践的・創造的・指導的能力を備えた技術者・研究者の養成を目指しています。そのため、次のような人物を広く求めます。

- ・ ものづくりに強い関心を持ち、その発展に寄与する意欲と行動力がある人
- ・ 自然科学、数学、情報技術に関する基礎的な内容を理解し、物事を俯瞰的・論理的に捉えることができる人
- ・ 機械工学全般についての幅広い知識や技術の修得に強い関心を持ち、主体的・自律的・積極的に学ぶ意欲がある人

(入学までに履修が望まれる教科・科目等)

各高等専門学校等が定める教育課程に従い、すべての教科・科目について、大学で勉学をすすめるために必要な基礎を履修していることが望まれます。特に、機械工学の授業内容を理解するために、英語、数学などの教養基礎科目並びに各高等専門学校等が定める専門基礎科目に関して理解しておくことが望まれます。

なお、数学に関しては、未履修内容であっても、関数・数列、ベクトル・行列、微分・積分については、入学後に重要となるので基礎的内容を自習しておくことが望まれます。

〔電気・電子情報工学課程〕

電気・電子情報工学課程では、電気・電子情報工学分野の発展を支える電気電子材料やエネルギーシステムなどの基盤技術分野や、集積化した電子デバイスやセンサー分野、無線通信システムや情報ネットワークなどの情報通信技術分野で活躍できる実践的・創造的・指導的能力を備えた技術者・研究者の養成を目指しています。そのため、次のような人物を広く求めます。

- ・ 電気・電子工学、情報通信工学、物質材料科学に関係する知識や技術に強い関心を持つ人
- ・ 旺盛な好奇心を持ち能動的で自覚的に勉学に取り組む意欲がある人
- ・ 技術を科学的にとらえるための数学と物理学の基礎を理解し応用できる人
- ・ 英語および国語の学習に積極的に取り組み高度な表現力・コミュニケーション能力を養おうと考える人

(入学までに履修が望まれる教科・科目等)

各高等専門学校等が定める教育課程に従い、すべての教科・科目について、大学での勉学の基礎を履修しておくことが望まれます。

特に、電気・電子情報工学の授業内容を理解するために、英語、数学などの教養基礎科目並びに各高等専門学校等が定める専門基礎科目に関して理解しておくことが望まれます。

〔情報・知能工学課程〕

情報・知能工学課程では、次世代の高度・大規模情報システムのための技術、生命・自然・社会の知に基づく新しい情報科学およびこれらの応用技術を修得し、あらゆる産業分野において先端情報システムの創造を担うことのできる実践力・創造力・指導力を備えた技術者・研究者の養成を目指しています。そのため、次のような人物を広く求めます。

- ・ 情報工学・情報通信工学ならびに情報科学に広く興味を持ち、それらの最先端分野の開拓や応用分野への展開に意欲がある人
- ・ 自然科学、数学、情報に関する基礎的な知識、論理的思考能力を持つ人
- ・ グローバルコミュニケーション能力を身につけ、国内外での活躍を志す人

(入学までに履修が望まれる教科・科目等)

コミュニケーション能力として、相手に自分の考えを説明する力があることが望まれます。各高等専門学校等が定める教育課程に従い、すべての教科・科目について、大学での勉学の基礎を履修しておくことが望まれますが、特に情報・知能工学における授業内容を理解するために、英語、下記の分野の数学および下記の分野の専門科目に関して理解しておくことが望まれます。

数学：解析，代数，確率

専門：論理回路，プログラミング

〔応用化学・生命工学課程〕

応用化学・生命工学課程では、応用化学・生命科学分野に関する基礎的知識を持ち、それらの知識を専門として深めることで次世代を支える技術として展開できる意欲と先端技術・知識を活用して技術的課題を解決する能力を持った実践的・創造的・指導的能力を備えた技術者・研究者の養成を目指しています。そのため、次のような人物を広く求めます。

- ・ 幅広い人間性と考え方，倫理観と社会性を有し，人類と自然との共生，公共の福祉を考慮し，持続可能社会の構築・発展に貢献できる技術者・研究者を志す人
- ・ 応用化学・生命科学分野の先端技術・知識を活用して技術的課題を解決できる技術者・研究者を志す人
- ・ グローバルコミュニケーション能力を身につけ，国内外で活躍できる技術者・研究者を志す人

(入学までに履修が望まれる教科・科目等)

各高等専門学校等が定める教育課程に従い、すべての教科、科目について、大学で勉学をすすめるために必要な基礎を履修していることが望まれます。特に、出身学科に関連する専門理工系科目とともに数学、国語、英語に関して十分に内容を理解していることが望まれます。

〔建築・都市システム学課程〕

建築・都市システム学課程では、建築分野と社会基盤分野の専門技術をバランスよく修得し、都市・地域の建築・社会基盤施設およびそれらを取りまく環境を、将来を見据えてデザインするとともに、それらをシステムとしてマネジメントするための能力を有する実践的・創造的・指導的能力を備えた技術者・研究者の養成を目指しています。そのため、次のような人物を広く求めます。

- ・ 自然環境，社会システム，地域文化など人間生活に関わる幅広い問題について関心を持つ知的好奇心の豊かな人
- ・ 建築・社会基盤分野の諸問題の論理的解明について学ぶことのできる基礎力を身につけた人
- ・ 創意工夫をこらした発想に富み，難しい問題に対しても主体的，積極的に取り組む意欲がある人

(入学までに履修が望まれる教科・科目等)

各高等専門学校等が定める教育課程に従い、すべての教科・科目について、大学で勉学をすすめるために必要な基礎を履修していることが望まれます。

特に、建築・都市システム学における授業内容を理解するために必要な教科である建築学，土木工学の専門科目とともに、数学，理科，国語，英語に関して学んだ内容を理解していることが望まれます。

第3年次 学生募集要項

第3年次の入学者の選抜は、次の4つの方式で行います。

- ① 推薦入試
- ② 学力入試
- ③ 外国人留学生入試
- ④ 社会人入試

I. 募 集 人 員

各入試及び課程別の募集人員は、下表のとおりです。

(人)

学部	課 程	募集人員	入 試 区 分			
			①推 薦	②学 力	③外国人 留学生	④社会人
工 学 部	機械工学課程	95	47	48	若干名	若干名
	電気・電子情報工学課程	80	40	40	若干名	若干名
	情報・知能工学課程	80	40	40	若干名	若干名
	応用化学・生命工学課程	55	27	28	若干名	若干名
	建築・都市システム学課程	50	25	25	若干名	若干名
合 計		360	179	181	若干名	若干名

注 学力入試の各課程の募集人員は、外国人留学生入試分及び社会人入試分を含みます。

第3年次入学者選抜日程

	①推薦	②学力④社会人 ③外国人留学生
4月下旬	出願登録期間 (4/17~5/9) 願書受付期間 (4/24~5/10)	
5月上旬		
中旬	書類選考	
下旬		
6月上旬		
中旬	合格発表 (6/12)	
下旬		試験日 (6/24)
7月上旬		
中旬		合格発表 (7/18)

Ⅱ. 入学試験の方法等

1. 推薦入試

(1) 出願資格

令和5年度高等専門学校（商船学科を除く）卒業見込みの者又は高等専門学校の商船学科を令和6年度卒業見込みの者で、在学中の成績が上位に属し、人物、学力が優秀で、出身学校長が責任をもって推薦できる者。ただし、合格した場合に入学の確約ができる者とし、合格後に入学を辞退することはできません。

なお、同一人を他の国公立大学と重複して推薦できません。

※高等専門学校には、日本国外の高等専門学校を含みます。

(2) 課程の選定

志望課程は、第2志望まで選ぶことができます。

ただし、志望できる課程は志願者の在籍する学科が14ページの【対応学科表】に示す対応学科である場合に限り、

(3) 選抜の方法

入学者の選抜は、書類選考のみとし、出身学校長から提出された推薦書及び調査書等により総合判定します。

(4) 合格者の発表

令和5年6月12日（月）11時

本学ウェブサイト（入試情報）に合格者の受験番号を掲載するとともに、出身高等専門学校長あてに合否を文書で通知し、併せて合格者には「合格通知書」を出身高等専門学校長経由で送付します。電話等による合否の照会には、一切応じません。

(5) 入学確約書

合格者は、令和5年7月13日（木）までに「入学確約書」（合格者に送付します）を入試課に提出してください。令和5年11月中旬（商船学科については令和6年11月中旬）に入学手続の詳細を通知します。

(6) 推薦入試で合格とならなかった場合の取扱い

「推薦入試」の結果、合格とならなかった者で「学力入試」又は「外国人留学生入試」の受験を希望する者については、あらかじめ出願登録の受験希望の有無欄で、希望を「有り」とした者に限り、併願受験をすることができます。この場合、出願書類及び検定料をあらためて提出・納入する必要はありません。ただし、推薦入試で第2志望課程に合格した場合は、併願受験を希望していた場合でも、受験することはできません。

2. 学力入試

(1) 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- ア. 高等専門学校（日本国外を含む）を卒業した者及び令和5年度卒業見込みの者（ただし、商船高等専門学校及び高等専門学校の商船学科については、令和6年度卒業見込みの者）
- イ. 短期大学を卒業した者及び令和5年度卒業見込みの者
- ウ. 大学において2年以上（休学期間を除く）在学し、65単位以上を修得した者及び令和6年3月31日までに修得見込みの者（令和6年3月31日に2年以上在学となる者を含む）
- エ. 専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たす課程を修了した者及び令和5年度修了見込みの者（ただし、学校教育法第90条第1項に規定する大学入学資格を有する者に限る。）
- オ. 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む）の専攻科の課程（修業年限が2年以上であること）のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者及び令和5年度修了見込みの者（ただし、学校教育法第90条第1項に規定する大学入学資格を有する者に限る。）
- カ. 外国の短期大学を卒業した者及び卒業見込みの者、又は外国の短期大学で課程を有し当該国の学校教育制度において教育施設として位置付けられた施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を我が国において修了した者及び令和5年度修了見込みの者（ただし、学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。）
- キ. 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者及び令和5年度修了見込みの者
- ク. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を、我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者及び令和5年度修了見込みの者
- ケ. ア～クと同等以上の資格のある者

(注)

- 1. エの「文部科学大臣の定める基準」とは、「修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上」です。
- 2. キ～ケに該当して出願する者は、出願資格を確認しますので、令和5年4月12日（水）までに入試課へ事前に照会してください。
- 3. 入学後に出身校等で修得した単位の認定を行います。科目によってはその単位を認定できない場合もあります。なお、単位認定の結果によっては、本学の卒業までに3年以上在学しなければならない場合もあります。

(2) 課程の選定

志望課程は、第2志望まで選ぶことができます。

また、受験する学力検査（専門科目）の試験科目についても、6ページの《志望課程別専門科目表》に示す選択科目の中から選んでください。

(3) 選抜の方法

入学者の選抜は、学力検査及び出身学校長から提出された調査書等による総合判定で行います。学力検査の内容は、次のとおりです。

- ア. 一般科目は、英語及び国語に関する筆記試験を行います。
- イ. 専門科目は、下記の科目に関する筆記試験を行います。

ただし、応用化学・生命工学課程の志望課程別専門科目は、筆記試験に代えて面接とします。

- ・ 応用数学
- ・ 志望課程別専門科目（注）
- ・ 面接（応用化学・生命工学課程のみ）（注）

（注）6ページの《志望課程別専門科目表》を参照してください。

なお、学力検査の配点は、次のとおりです。

機械工学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 建築・都市システム学課程

科目	一般科目		専門科目		計
	英語	国語	応用数学	志望課程別専門科目	
配点	150	100	100	150	500

応用化学・生命工学課程

科目	一般科目		専門科目		計
	英語	国語	応用数学	面接(※)	
配点	150	100	100	150	500

(※)面接では, 志望動機, 勉学意欲, 基礎学力, 論理的な思考力及び表現力等を総合的に評価します。

(4) 学力検査の日時・場所

月 日	科目等		時 間	場 所
6月24日(土)	一般科目	英語	9:00 ~ 10:30 (リスニングを含む90分)	豊橋技術科学大学
		国語	11:00 ~ 12:00 (60分)	
	専門科目	応用数学	13:00 ~ 14:00 (60分)	
		志望課程別専門科目 (応用化学・生命工学課程を除く全課程)	14:30 ~ 16:00 (90分)	
		面接 (応用化学・生命工学課程)	14:30 ~	

(注) 受験にあたっては, 12ページの「IV. 受験者心得」をよく読んでおいてください。

(5) 合格者の発表

令和5年7月18日(火) 11時

本学ウェブサイト(入試情報)に合格者の受験番号を掲載するとともに, 合格者には「合格通知書」をもって通知します。電話等による合否の照会には, 一切応じません。

なお, 合格者には, 令和5年11月中旬(商船学科については令和6年11月中旬)に入学手続の詳細を通知します。

3. 外国人留学生入試

(1) 出願資格

日本の出入国管理及び難民認定法に規定する「留学」の在留資格を有する者、又は大学入学後に在留資格を「留学」に変更可能な者で、3ページ(1)出願資格ア～ケのいずれかに該当する者となります。

(2) 課程の選定

志望課程は、第2志望まで選ぶことができます。

また、受験する学力検査（専門科目）の試験科目についても、6ページの《志望課程別専門科目表》に示す選択科目の中から選んでください。

(3) 選抜の方法

選抜は、3ページ(3)により行いますが、学力検査科目のうち、一般科目の「国語」は、免除します。なお、学力検査の配点は、次のとおりです。（出題言語は日本語）

機械工学課程，電気・電子情報工学課程，情報・知能工学課程，建築・都市システム学課程

科目	一般科目		専門科目		計
	英語	応用数学	志望課程別専門科目		
配点	150	100	150		400

応用化学・生命工学課程

科目	一般科目		専門科目		計
	英語	応用数学	面接(※)		
配点	150	100	150		400

(※)面接では、志望動機、勉強意欲、基礎学力、論理的な思考力及び表現力等を総合的に評価します。

(4) 学力検査の日時・場所

月 日	科目等		時間	場所
6月24日(土)	一般科目	英語	9:00 ～ 10:30 (リスニングを含む90分)	豊橋技術科学大学
	専門科目	応用数学	13:00 ～ 14:00 (60分)	
		志望課程別専門科目 (応用化学・生命工学課程を除く全課程)	14:30 ～ 16:00 (90分)	
		面接 (応用化学・生命工学課程)	14:30 ～	

(注) 受験にあたっては、12ページの「IV. 受験者心得」をよく読んでおいてください。

(5) 合格者の発表

令和5年7月18日(火) 11時

本学ウェブサイト(入試情報)に合格者の受験番号を掲載するとともに、合格者には「合格通知書」をもって通知します。電話等による可否の照会には、一切応じません。

なお、合格者には、令和5年11月中旬(商船学科については令和6年11月中旬)に入学手続の詳細を通知します。

《 志望課程別専門科目表 》

下記の表を参考にして、出願時①～⑥の科目(科目コード)のうちから、1つを選択してください。
 なお、選択する科目により、第2志望とすることができる課程が異なりますので、十分に注意してください。

また、応用化学・生命工学課程を第2志望課程とする者については、同課程で実施する面接を受験する必要はありません。(第1志望課程で課している専門科目の筆記試験の受験により、面接の受験に代えます。)

第1志望課程	選択科目	選択した科目により第2志望とすることができる課程
機械工学課程	①～③ のうちから 1科目	電気・電子情報工学課程(②を選択の場合のみ) 情報・知能工学課程 応用化学・生命工学課程
電気・電子情報工学課程	②	機械工学課程 情報・知能工学課程 応用化学・生命工学課程
情報・知能工学課程	①～⑤ のうちから 1科目	機械工学課程(①～③を選択の場合のみ) 電気・電子情報工学課程(②を選択の場合のみ) 応用化学・生命工学課程 建築・都市システム学課程(④・⑤を選択の場合のみ)
応用化学・生命工学課程	⑥	—————
建築・都市システム学課程	④・⑤ のうちから 1科目	情報・知能工学課程 応用化学・生命工学課程

(注) 1. 表中の丸数字は、専門科目の科目コードを示し、具体的な科目名等は次のとおりです。

- ① 機械工学に関する基本的専門科目
- ② 電気・電子情報工学に関する基本的専門科目
- ③ 情報・知能工学に関する基本的専門科目
- ④ 建築学に関する基本的専門科目
- ⑤ 土木工学に関する基本的専門科目
- ⑥ 面接

2. 各科目の出題内容及び選択方法については、次のとおりです。

- ① 水力・流体力学，熱力学，材料力学及び加工学・材料学の4問を全て解答する。
- ② 電磁気，電気回路，電子回路，情報通信及び物理化学から3問を選択して解答する。
- ③ 数学(解析，代数，確率)，論理回路及びプログラミング(データ構造とアルゴリズムを含む)から出題する。
- ④ 構造，環境及び計画の3分野から出題する。
- ⑤ 構造，水理及び土木計画の3分野から出題する。

4. 社会人入試

(1) 出願資格

3 ページ(1)の出願資格ア～ケにより高等専門学校等を卒業した後、令和6年3月末までに企業等に2年程度以上職員として勤務し、勤務成績が優秀であると所属長により認められ、在職のまま入学を希望する者としてします。

(2) 課程の選定

志望課程は、第2志望まで選ぶことができます。

(3) 選抜の方法

選抜は、3 ページ(3)により行いますが、学力検査科目のうち、志望課程別専門科目は筆記試験に代えて、工学基礎及び提出された業績報告書の内容について、口述試験及び面接を行います。

なお、学力検査の配点は、次のとおりです。

科目	一般科目		専門科目	口述試験 及び 面接	計
	英語	国語	応用数学		
配点	150	100	100	150	500

(4) 学力検査、口述試験及び面接の日時・場所

月 日	科目等		時 間	場 所
6月24日(土)	一般 科目	英 語	9:00 ～ 10:30 (リスニングを含む90分)	豊橋技術科学大学
		国 語	11:00 ～ 12:00 (60分)	
	専門 科目	応用数学	13:00 ～ 14:00 (60分)	
	口述試験及び面接		14:30 ～	

(注) 受験にあたっては、12ページの「IV. 受験者心得」をよく読んでおいてください。

(5) 合格者の発表

令和5年7月18日(火) 11時

本学ウェブサイト(入試情報)に合格者の受験番号を掲載するとともに、合格者には「合格通知書」をもって通知します。電話等による合否の照会には、一切応じません。

なお、合格者には、令和5年11月中旬に入学手続の詳細を通知します。

(6) 入学後の取扱い

入学後の企業等における身分については、当該所属企業等の定めによるものとします。

Ⅲ. 出 願 手 続

1. 願書受付期間等

願書受付期間	令和5年4月24日(月) ～令和5年5月10日(水) 17時(本学必着)
インターネット 出願登録期間	令和5年4月17日(月) 9時00分 ～令和5年5月9日(火) 23時59分
検定料支払期限	令和5年5月9日(火) 23時59分

※出願は郵送に限り、願書受付期間後に到着した願書は、受理できません。

インターネット出願システムにより出願登録後、検定料を支払い、出願書類を送付してください。インターネット出願システムの登録手続方法等については、18ページをご覧ください。

2. 出願方法

出願方法は、次の4ステップです。

【ステップ1】インターネット出願登録

インターネット出願登録期間に下記 URL からアクセスし、画面の指示にしたがって入力してください。

URL <https://e-apply.jp/ds/tut/>

【ステップ2】検定料支払い

検定料支払期限までに、クレジットカード又はコンビニエンスストア等で検定料を支払ってください。

【ステップ3】出願書類送付

9ページの「3. 出願書類等」を願書受付期間内に入試課入試係へ簡易書留速達で郵送してください。出願用封筒は市販の角2封筒を使用してください。出願書類提出後は、出願区分や志望課程の変更並びに記載事項の変更は認めません。

なお、推薦入試の志願者については、出身高等専門学校でとりまとめの上、簡易書留速達で郵送してください。その際、学力入試等の出願書類を同封しても差し支えありません。

いずれの場合も、郵送以外の提出は受理しません。

○出願書類等の郵送先

〒441-8580 豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1
豊橋技術科学大学入試課

【ステップ4】受験票の印刷

出願書類を受理した後、令和5年5月17日(水)から受験票の印刷が可能となります。インターネット出願登録画面のマイページからログインし、受験時までに自身で必ず印刷(A4サイズの用紙)してください。印刷した受験票は、試験当日必ず持参してください。

※インターネットを利用することができない場合は、令和5年4月20日(木)17時までに入試課までご連絡ください。

※本学からは出願登録時にインターネット出願システムのURLをメール等でお知らせしていません。URLが記載されたメールが届いた場合には、クリックしないよう注意してください。

3. 出願書類等

(1) 推薦入試

入試区分	推薦入試	摘要
出願確認票	○	出願登録後，A4 サイズで印刷したもの。
写真票	○	出願登録後，A4 サイズで印刷したもの。 写真は，正面上半身脱帽で出願3か月以内に撮影したものを使用。
推薦書	○	本学ウェブサイト (https://www.tut.ac.jp/exam/collect.html) よりダウンロードした様式により，出身学校長が作成し，厳封したもの。
出身学校の調査書* ¹	○	本学ウェブサイト (https://www.tut.ac.jp/exam/collect.html) よりダウンロードした様式により，出身学校長が作成し，厳封したもの。(複数人分をまとめた厳封可)
高等学校の調査書	△	【高等学校から高等専門学校へ編入学した者のみ】 文部科学省所定の様式により，出身高等学校長が作成し，厳封したもの。 出身高等学校が外国の場合は，出身高等学校作成の成績証明書の原本もしくは出身国における卒業時統一試験の成績証明書の原本を併せて提出。 (注) 1. いずれも出身学校による原本証明可 2. いずれも日本語又は英語で作成されたもの
出身学校の成績証明書	○	出身学校長が作成の上，厳封したもの。(複数人分をまとめた厳封可)
記述票	○	本学ウェブサイト (https://www.tut.ac.jp/exam/collect.html) よりダウンロードした様式について，本人が記入したもの。
検定料* ²	○	30,000円(検定料の他に，支払手数料が別途かかります) 出願書類の送付前に支払い手続きを済ませてください。
住民票(写)	△	【現に日本国に在住している外国人のみ】 国籍・在留資格・期間が記載されたもの。在留カード(外国人登録証明書)の写しでも可。

○は全員提出が必要，△は該当者のみ提出が必要です。

*1 外国人留学生の席次について

外国人留学生(高専出身者)についても当該学科における日本人学生を含めた数を母数とする席次を必ず記入してください。調査書に席次の記入がない場合には，出願を受理しないので注意してください。

なお，日本人学生とカリキュラムが一部異なる等の理由で，日本人学生を含めた数を母数とする席次が出せない場合には，例えば当該学科におけるカリキュラムの中で日本人学生と外国人留学生との共通の分野・科目群で評価を行い，日本人学生を含めた中での当該外国人留学生の席次を「席次○○位相当」として記入してください。不明な点がありましたら，出願前に必ず本学入試課へ照会してください。

*2 出身学校において，日本政府(文部科学省)国費留学生として奨学金を受給している者についても，検定料は必要です。(本学の入学者選抜に合格し，入学することを前提とした奨学金の延長申請をしている者については，延長決定後，検定料を返還します。決定通知受領後，本学入試課へ申し出てください。なお，検定料の返還は本学に入学する場合に限ります。)

(注) 1. 出願書類に手書きをする場合は，黒インク又は黒ボールペンで記入してください。

2. ダウンロードした様式については，手書きもしくはワープロソフトにより作成してください。
ただし，様式を改変しないこと。

3. 一度納入された検定料は返還しません。また，一度受理した出願書類は返還しません。

4. 出願書類に不備がある場合は受理しません。ただし，出願後に現住所(連絡先)に変更が生じた場合には，速やかに届け出てください。

(2) 学力入試, 外国人留学生入試

出願資格	ア	イ エ～カ	ウ キ～ケ	摘 要
出願確認票	○	○	○	出願登録後, A4 サイズで印刷したもの。
写真票	○	○	○	出願登録後, A4 サイズで印刷したもの。 写真は, 正面上半身脱帽で出願3か月以内に撮影したものを使用。
出身学校の 調査書*1	○	○	○	本学ウェブサイト (https://www.tut.ac.jp/exam/collect.html) よりダウンロードした様式により, 出身学校長が作成し, 厳封したもの。
高等学校の 調査書	△	○	△	【高等学校から高等専門学校に編入学, 転入学した者, 短期大学を卒業又は卒業見込みの者及び専修学校の専門課程を修了又は修了見込みの者のみ】 文部科学省所定の様式により, 出身高等学校長が作成し, 厳封したもの。 出身高等学校が外国の場合は, 出身高等学校作成の成績証明書の原本もしくは出身国における卒業時統一試験の成績証明書の原本を併せて提出。 (注) 1. いずれも出身学校による原本証明可 2. いずれも日本語又は英語で作成されたもの
出身学校の 成績証明書	○	○	○	出身学校長が作成し, 厳封したもの。
検定料*2	○	○	○	30,000円(検定料の他に, 支払手数料が別途かかります) 出願書類の送付前に支払い手続きを済ませてください。
住民票(写)	△	△	△	【現に日本国に在住している外国人のみ】 国籍・在留資格・期間が記載されたもの。在留カード(外国人登録証明書)の写しでも可。
在学証明書			△	【出願資格ウに該当する者のみ】 在学していることが確認できるもの。
履修科目証明書			△	【出願資格ウに該当する者で, 出願時に65単位以上修得していない者のみ】 履修中の科目及び単位数の明記されたものを提出。 また, 令和5年度後学期等に履修予定の科目で上記によっても証明できない場合は, その科目名と単位数を明記し, 志願者本人が署名, 捺印した書類も併せて提出。
在籍期間証明書			△	【出願資格ウに該当する者のみ】 在籍期間及び休学期間が確認できるもの。

○は全員提出が必要, △は該当者のみ提出が必要です。

出願資格エ～カ(外国の短期大学を卒業した者及び卒業見込みの者を除く)に該当する者については, 当該専修学校等が文部科学大臣の定める基準を満たすことを証明する書類(専修学校等が発行する証明書等)を提出してください。

出願資格キ～ケに該当する者については, その資格を証明する書類(出願資格確認の際, 別途指示します)を提出してください。

*1 外国人留学生の席次について

外国人留学生(高専出身者)についても当該学科における日本人学生を含めた数を母数とする席次を必ず記入してください。調査書に席次の記入がない場合には, 出願を受理しないので注意してください。

なお, 日本人学生とカリキュラムが一部異なる等の理由で, 日本人学生を含めた数を母数とする席次が出せない場合には, 例えば当該学科におけるカリキュラムの中で日本人学生と外国人留学生との共通の分野・科目群で評価を行い, 日本人学生を含めた中での当該外国人留学生の席次を「席次○○位相当」として記入してください。不明な点がありましたら, 出願前に必ず本学入試課へ照会してください。

*2 出身学校において, 日本政府(文部科学省)国費留学生として奨学金を受給している者についても, 検定料は必要です。(本学の入学選抜に合格し, 入学することを前提とした奨学金の延長申請をしている者については, 延長決定後, 検定料を返還します。決定通知受領後, 本学入試課へ申し出てください。なお, 検定料の返還は本学に入学する場合に限ります。)

(注) 1. 出願書類に手書きをする場合は, 黒インク又は黒ボールペンで記入してください。

2. ダウンロードした様式については, 手書きもしくはワープロソフトにより作成してください。
ただし, 様式を改変しないこと。

3. 一度納入された検定料は返還しません。また, 一度受理した出願書類は返還しません。

4. 出願書類に不備がある場合は受理しません。ただし, 出願後に現住所(連絡先)に変更が生じた場合には, 速やかに届け出てください。

(3) 社会人入試

前項(2)に示す出願書類に加えて、以下の書類もあわせて提出してください。

(ア) 推薦書

所定の用紙に所属長が記入したもの。

(イ) 業績報告書

在職中に志願者本人が行った業務内容の概要(様式は任意で1,000字以内。関係資料がある場合には添付してください)、その他、研究論文、技術報告及び特許・実用新案等、志願者本人の業績を示す文書の写し。

(ウ) 受験承諾書

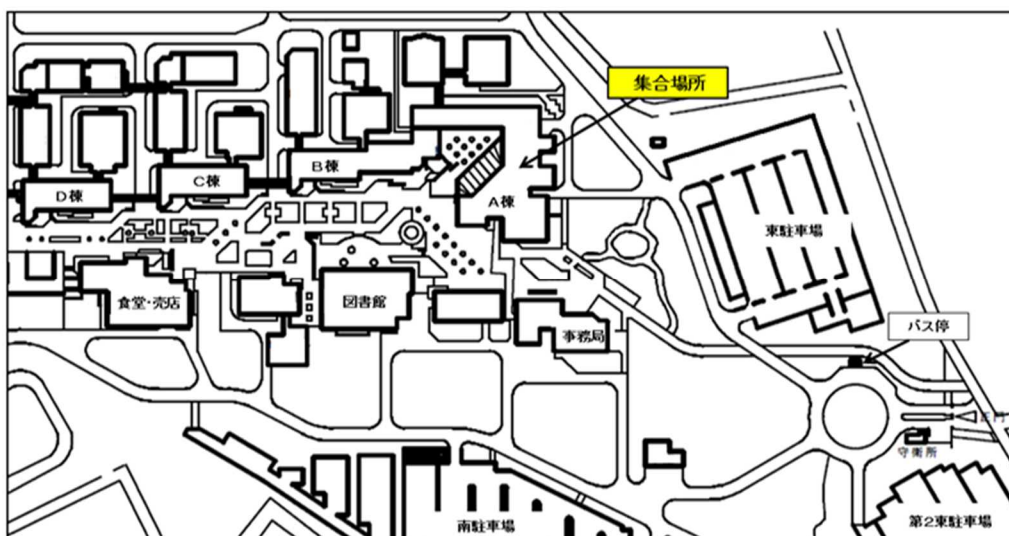
所属長が作成した受験承諾書(様式は任意)。

(エ) 社会人入試・面接票

所定の用紙に志願者本人が記入したもの。

IV. 受験者心得(学力入試, 外国人留学生入試, 社会人入試)

1. 試験当日は, A棟集合場所で各自試験室を確認の上, 試験開始15分前までに試験室へ入室してください。
2. 受験票を必ず持参してください。万一, 受験票を紛失した場合には, 直ちに届け出てください。
3. 試験室で机の上に置いてよいものは, 受験票, 鉛筆, シャープペン, 消しゴム, 直定規, 時計(計時機能だけのもの), メガネ, ティッシュペーパー(袋から出した中身のみ)だけです。
4. 試験開始後20分までの入室は認めますが, これを過ぎた場合, 入室は認めません。
5. 試験中, 発言する必要がある場合は, 手を挙げて合図し, 監督者の許可を得てください。
6. 試験室において, 不適切な行為があった者は, 監督者が退室を命ずることがあります。
7. 携帯電話, スマートフォン等の電子機器類は, 試験室に入る前にアラームの設定を解除してから電源を切り, かばん等に入れて身につけないでください。
8. 計算機(電卓, 計算機能のある時計等)の使用は禁止します。
9. 病気その他事故が生じた時は, 速やかに係員に申し出てその指示に従ってください。
10. 食堂は利用できません。売店は利用できますが, 弁当などの販売数に限りがありますので, 出来るだけ昼食を持参してください。



V. 納入経費(予定額)

- ・入学料 282,000円
- ・授業料前期分 267,900円 (年額535,800円)

なお, 入学時及び在学中に納入経費の改定が行われた場合には, 改定時から新しい入学料及び授業料が適用となります。

VI. 入試情報の開示

本学では, 志願者本人からの請求に基づいて第3年次入学者選抜の試験成績を開示します。対象の選抜区分と開示する内容, 開示の請求方法及び開示の時期については, 令和5年8月下旬に本学ウェブサイトの下記URLにて掲載します。

URL <https://www.tut.ac.jp/exam/applications/news.html>

VII. その他

1. 障害等(学校教育法施行令第22条の3に定める身体障害の程度及び障害者自立支援法に準拠)がある者は, 受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので, 出願前にあらかじめ入試課までお問い合わせください。

2. 志願者又は主たる家計支持者が自然災害等により、り災し、災害救助法の適用を受けた場合、各種入学試験（学部・大学院）において、検定料を免除することがあります。
該当すると思われる場合は、事前に入試課までお問い合わせください。
3. 納入された検定料は、次に掲げる場合を除き、いかなる事情があっても返還しません。
 - ① 検定料を二重に払い込んだ場合
 - ② 検定料を払い込んだが出願しなかった場合
 - ③ 検定料を払い込んだが出願が受理されなかった場合なお、返還手続に関する詳細は、本学から別途該当者に連絡します。
4. 本学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「国立大学法人豊橋技術科学大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生等の受け入れに際して厳格な審査を実施しています。
規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、ご注意ください。
5. 本学の学生宿舎は、大学の敷地内にあります。入居に関する詳細は、合格通知に同封します。

VIII. 入試に関する問い合わせ先

本入試に関するお問い合わせ先は、下記のとおりです。

〒441-8580 豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1
豊橋技術科学大学 入試課
電 話 : 0532-44-6581
E-mail : nyushi@office.tut.ac.jp

【対応学科表】

*A: 材料系のみ該当, *B: 情報工学分野のみ該当

高専名	学科名	系・コース名	機械工学課程	電気・電子 情報工学課程	情報・知能 工学課程	応用化学・ 生命工学課程	建築・都市 システム課程
函館工業高等専門学校	生産システム工学科 物質環境工学科 社会基盤工学科	機械コース 電気電子コース 情報コース	○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○		○
苫小牧工業高等専門学校	創造工学科	機械系 都市・環境系 応用化学・生物系 電気電子系 情報科学・工学系	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○		○
釧路工業高等専門学校	創造工学科	スマートエレクトロニクスコース エレクトロニクスコース 建築デザインコース	○ ○	*B ○	○ ○		○
旭川工業高等専門学校	機械システム工学科 電気情報工学科 システム制御情報工学科 物質化学工学科		○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○		
八戸工業高等専門学校	産業システム工学科	機械システムデザインコース 電気情報工学コース マテリアル・バイオ工学コース 環境都市・建築デザインコース	○ ○ ○	○	○ ○		○
一関工業高等専門学校	未来創造工学科	情報・ソフトウェア系 電気・電子系 機械・知能系 化学・バイオ系	○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○		
仙台高等専門学校	総合工学科	I類 情報システムコース I類 情報通信コース I類 知能エレクトロニクスコース II類 ロボティクスコース II類 マテリアル環境コース II類 機械・エネルギーコース III類 建築デザインコース 応用科学コース	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○		○
秋田工業高等専門学校	創造システム工学科	機械系 電気・電子・情報系 物質・生物系 土木・建築系	○ ○	○	○ ○		○
鶴岡工業高等専門学校	創造工学科	機械コース 電気・電子コース 情報コース 化学・生物コース	○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○		
福島工業高等専門学校	機械システム工学科 電気電子システム工学科 化学・バイオ工学科 都市システム工学科 ビジネスコミュニケーション工学科		○ ○	○	○ ○		○
茨城工業高等専門学校	国際創造工学科	機械・制御系 電気・電子系 情報系 化学・生物・環境系	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○		
小山工業高等専門学校	機械工学科 電気電子創造工学科 物質工学科 建築学科		○ ○ ○ ○	○	○ ○		○
群馬工業高等専門学校	機械工学科 電子メディア工学科 電子情報工学科 物質工学科 環境都市工学科		○ ○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○		○
木更津工業高等専門学校	機械工学科 電気電子工学科 電子制御工学科 情報工学科 環境都市工学科		○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○		○
東京工業高等専門学校	機械工学科 電気工学科 電子工学科 情報工学科 物質工学科		○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○		
長岡工業高等専門学校	機械工学科 電気電子システム工学科 電子制御工学科 物質工学科 環境都市工学科		○ ○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○		○
富山高専専門学校	機械システム工学科 電気制御システム工学科 物質化学工学科 電子情報工学科 国際ビジネス学科 商船学科		○ ○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○		

化学系および生命系の学科をはじめとする全学科

高専名	学科名	系・コース名	機械工学課程	電気・電子 情報工学課程	情報・知能 工学課程	応用化学・ 生命工学課程	建築・都市 システム学課程
石川工業高等専門学校	機械工学科 電気工学科 電子情報工学科 環境都市工学科 建築学科		○ ○ ○	○ ○	○ ○		○ ○
福井工業高等専門学校	機械工学科 電気電子工学科 電子情報工学科 物質工学科 環境都市工学科		○ ○ ○ *A	○ ○	○ ○		○
長野工業高等専門学校	機械工学科 電気電子工学科 電子制御工学科 電子情報工学科 環境都市工学科		○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○		○
岐阜工業高等専門学校	機械工学科 電気情報工学科 電子制御工学科 環境都市工学科 建築学科		○ ○ ○	○ ○	○ ○		○ ○
沼津工業高等専門学校	機械工学科 電気電子工学科 電子制御工学科 制御情報工学科 物質工学科		○ ○ ○ ○ *A	○ ○ ○	○ ○ ○		
豊田工業高等専門学校	機械工学科 電気・電子システム工学科 情報工学科 環境都市工学科 建築学科		○ ○ ○	○ ○	○ ○		○ ○
鳥羽商船高等専門学校	商船学科 情報機械システム工学科		○ ○	○	○		
鈴鹿工業高等専門学校	機械工学科 電気電子工学科 電子情報工学科 生物応用化学科 材料工学科		○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○		
舞鶴工業高等専門学校	機械工学科 電気情報工学科 電子制御工学科 建設システム工学科	都市環境コース 建築コース	○ ○ ○	○ ○	○ ○		○ ○
明石工業高等専門学校	機械工学科 電気情報工学科 都市システム工学科 建築学科		○ ○	○	○		○ ○
奈良工業高等専門学校	機械工学科 電気工学科 電子制御工学科 情報工学科 物質化学工学科		○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○		
和歌山工業高等専門学校	知能機械工学科 電気情報工学科 生物応用化学科 環境都市工学科		○ ○	○	○		○
米子工業高等専門学校	機械工学科 電気情報工学科 電子制御工学科 物質工学科 建築学科		○ ○ ○ *A	○ ○	○ ○		○
松江工業高等専門学校	機械工学科 電気情報工学科 電子制御工学科 情報工学科 環境・建設工学科		○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○		○
津山工業高等専門学校	総合理工学科	先進科学系 機械システム系 電気電子システム系 情報システム系	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○		
広島商船高等専門学校	商船学科 電子制御工学科 流通情報工学科	航海コース 機関コース	○ ○ ○	○ ○	○ ○		
呉工業高等専門学校	機械工学科 電気情報工学科 環境都市工学科 建築学科		○ ○	○	○		○ ○
徳山工業高等専門学校	機械電気工学科 情報電子工学科 土木建築工学科		○	○ ○	○		○

化学系および生命系の学科をはじめとする全学科

高専名	学科名	系・コース名	機械工学課程	電気・電子 情報工学課程	情報・知能 工学課程	応用化学・ 生命工学課程	建築・都市 システム課程
宇部工業高等専門学校	機械工学科		○		○		
	電気工学科			○	○		
	制御情報工学科		○	○	○		
	物質工学科 経営情報学科		*A ○		○		
大島商船高等専門学校	商船学科		○				
	電子機械工学科		○	○	○		
	情報工学科		○	○	○		
阿南工業高等専門学校	創造技術工学科	機械コース 電気コース 情報コース 建設コース 化学コース	○ ○ ○	○ ○	○ ○		○
	機械工学科		○		○		
	電気情報工学科		○	○	○		
	機械電子工学科		○	○	○		○
	建設環境工学科 通信ネットワーク工学科 電子システム工学科 情報工学科		○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○		○
新居浜工業高等専門学校	機械工学科		○		○		
	電気情報工学科		○	○	○		
	電子制御工学科		○	○	○		
	生物応用化学学科 環境材料工学科		○ ○	○	○		
弓削商船高等専門学校	商船学科		○				
	電子機械工学科		○	○	○		
	情報工学科		○	○	○		
高知工業高等専門学校	ソーシャルデザイン工学科	エネルギー・環境コース ロボティクスコース 情報セキュリティコース まちづくり・防災コース 新素材・生命コース	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○		○
	機械工学科		○		○		
	電気電子工学科		○	○	○		
	制御情報工学科		○	○	○		
	生物応用化学学科 材料システム工学科		○ ○	○	○		
有明工業高等専門学校	創造工学科	エネルギーコース 応用化学コース 環境生命コース メカニクスコース 情報システムコース 建築コース	○ ○ ○ ○ ○	○	○ ○		○
	機械工学科		○		○		
	電気電子工学科		○	○	○		
	制御情報工学科		○	○	○		
	物質工学科		*A		○		
	熊本高等専門学校	情報通信エレクトロニクス工学科 制御情報システム工学科 人間情報システム工学科 機械知能システム工学科 建築社会デザイン工学科 生物化学システム工学科		○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○
大分工業高等専門学校	機械工学科		○		○		
	電気電子工学科		○	○	○		
	情報工学科		○	○	○		
	都市・環境工学科						○
都城工業高等専門学校	機械工学科		○		○		
	電気情報工学科		○	○	○		
	物質工学科		*A		○		
	建築学科						○
鹿児島工業高等専門学校	機械工学科		○		○		
	電気電子工学科		○	○	○		
	電子制御工学科		○	○	○		
	情報工学科		○	○	○		
	都市環境デザイン工学科						○
沖縄工業高等専門学校	機械システム工学科		○		○		
	情報通信システム工学科		○	○	○		
	メディア情報工学科		○		○		
	生物資源工学科						

化学系および生命系の学科をはじめとする全学科

高専名	学科名	系・コース名	機械工学課程	電気・電子 情報工学課程	情報・知能 工学課程	応用化学・ 生命工学課程	建築・都市 システム学課程
東京都立産業技術高等専門学校	ものづくり工学科	機械システム工学コース	○		○	化学系および生命系の学科をはじめとする全学科	
		生産システム工学コース	○		○		
		電気電子工学コース	○	○	○		
		電子情報工学コース	○	○	○		
		情報通信工学コース	○	○	○		
		ロボット工学コース	○		○		
		航空宇宙工学コース	○		○		
		医療福祉工学コース	○	○	○		
大阪公立大学工業高等専門学校	総合工学システム学科	機械システムコース	○		○		○
		メカトロニクスコース	○	○	○		
		電子情報コース	○	○	○		
		環境物質化学コース 都市環境コース	○				
神戸市立工業高等専門学校	機械工学科 電気工学科 電子工学科 応用化学科 都市工学科		○		○		○
			○	○	○		
			○	○	○		
			○	○	○		
サレジオ工業高等専門学校	電気工学科 機械電子工学科 情報工学科 デザイン学科		○	○	○		
			○	○	○		
			○	○	○		
			○	○	○		
国際高等専門学校	国際理工学科	機械工学コース	○		○		
		電気電子コース	○	○	○		
		情報フロンティアコース	○		○		
		応用化学コース					
近畿大学工業高等専門学校	総合システム工学科	機械システムコース	○		○		○
		電気電子コース	○	○	○		
		制御情報コース	○	○	○		
		都市環境コース《土木系・建築系》					
新モンゴル高専	機械工学科 電気電子工学科 化学工学科 土木建築工学科		○		○		○
			○	○	○		
モンゴル工業技術大学 附属コーセン技術カレッジ	機械工学科 電気電子工学科 バイオ工学科 建設工学科		○		○	要 問 い 合 わ せ	○
			○	○	○		
モンゴル科学技術大学付属高専	機械科 電気電子科 土木建築科		○		○		○
			○	○	○		

※上記以外の学科(商船学科を含む)・コースについても、カリキュラム確認等の結果、出願を認める場合がありますので、令和5年4月12日(水)までに入試課へ照会してください。

※海外高専からの出願者は、主として日本語で行われる専門科目の講義が理解できる程度の日本語能力を身につけていることが望ましい。

インターネット出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです



STEP

1

事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。
出願書類※は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※出願書類…調査書、顔写真データ、大学入学共通テスト成績請求票など
詳細は募集要項参照



STEP

2

インターネット出願サイトにアクセス

インターネット出願サイト

<https://e-apply.jp/ds/tut/>

または、

大学ホームページ

<https://www.tut.ac.jp/exam/collect.html>

からアクセス



STEP

3

マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。



①初めて登録する方は
マイページ登録 から
ログインしてください。



②メールアドレスの登録を行って
仮登録メールを送信 を
クリックしてください。



③ユーザー登録画面から
ログインページへ を
クリックしてください。



④登録したメールアドレスに
初期パスワードと
本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメール
を受信できるように設定してください。



⑤ログイン画面から
登録したメールアドレスと④で
届いた『初期パスワード』にて
ログイン を
クリックしてください。



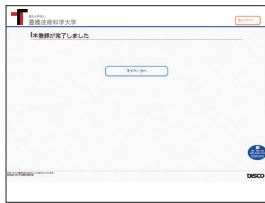
⑥初期パスワードの変更を
行ってください。



⑦表示された個人情報を入力して
次へ を
クリックしてください。



⑧個人情報を確認して
この内容で登録する を
クリックしてください。



⑨登録完了となります。
マイページへ
をクリックしてください。



⑩上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中の場合のみ、**出願手続きを行う** ボタンをクリックすると出願手続きに進めます。
登録期間外の場合は、これより先に進みませんので **ログアウト** ボタンをクリックしてください。

STEP

4

出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



①マイページログイン後の
出願手続きを行う ボタン
から登録画面へ



②入試選択と留意事項の確認



③志望学部等の選択



④顔写真のアップロード
写真選択へ ボタンをクリックし
写真を選択します。



⑤個人情報(氏名・住所等)の
入力



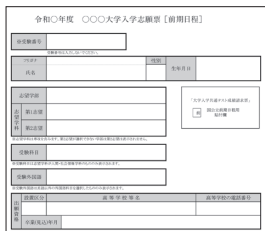
⑥出願内容の確認
出願確認票(サンプル) ボタンを
クリックすると出願確認票が確認できます。



⑦申込登録完了
引き続き支払う ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。



⑧検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ページ対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード



⑨出願に必要な書類PDF
(イメージ)
※検定料納入後に出力可能となります。

検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ページ対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストアまたはページ対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号
メモ(13桁)

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ページ対応銀行ATMの場合

お客様番号
メモ(11桁)

確認番号
メモ(6桁)

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済
番号メモ(11桁)

収納機関番号
(5桁) **5 8 0 2 1**

※収納機関番号は、ページで
お支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、検定料支払い前であれば正しい出願内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

※「検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

STEP

5



検定料の支払い

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA, Master, JCB, AMERICAN EXPRESS, MUFGカード, DCカード, UFJカード, NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されている必要があります

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能



Loppi



マルチコピー機

あなたも、コンビニ、
FamilyMart



4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

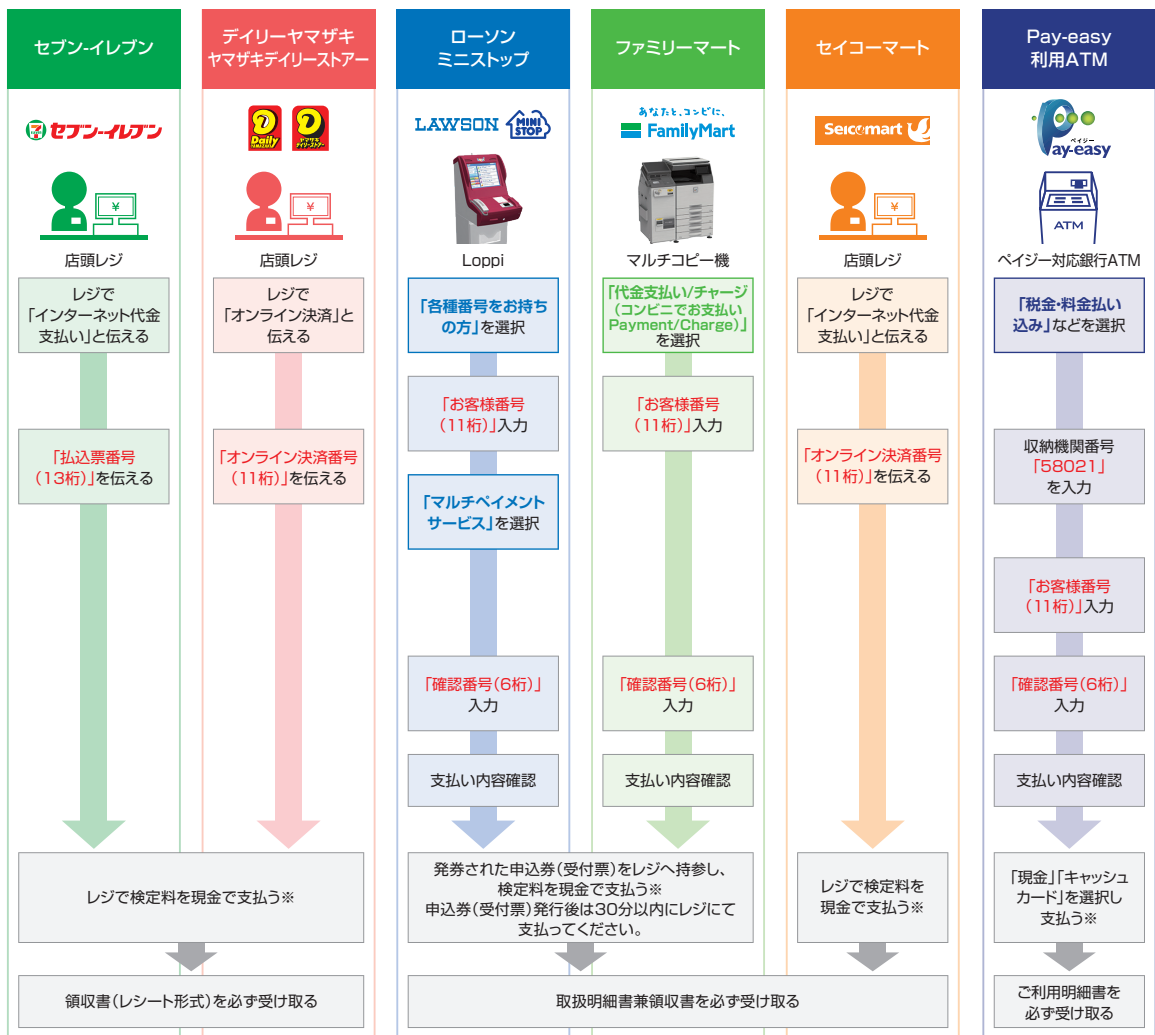
出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア



※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

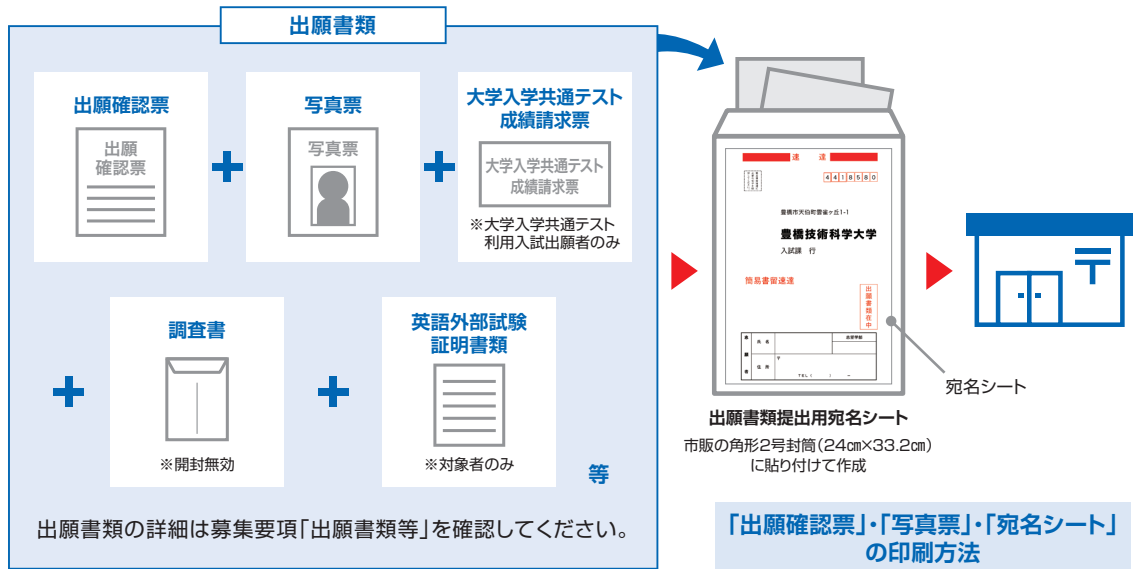
STEP

6

出願書類の印刷と郵送

登録だけでは出願は完了していませんので注意してください。

出願登録、検定料の支払後にダウンロードできる書類を印刷し、その他の出願書類と併せて出願期間内に郵便局窓口から「簡易書留速達郵便」で郵送してください。



出願書類の詳細は募集要項「出願書類等」を確認してください。

送付先

〒441-8580 豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1
豊橋技術科学大学入試課 行

※出願受理した検定料・出願書類は一切返却しません。

〈出願完了〉

出願時の 注意点

出願はインターネット出願サイトでの登録完了後、検定料を支払い、出願書類を郵送して完了となります。登録が完了しても出願書類の提出期限に書類が届かなければ出願を受理できませんので注意してください。

インターネット出願は24時間可能です。募集要項に記載の期間までに、出願登録、検定料の支払いを行い、出願書類を郵送してください。

STEP

7

受験票の印刷

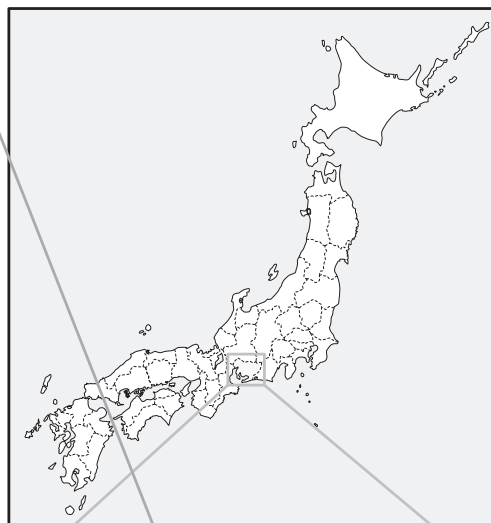
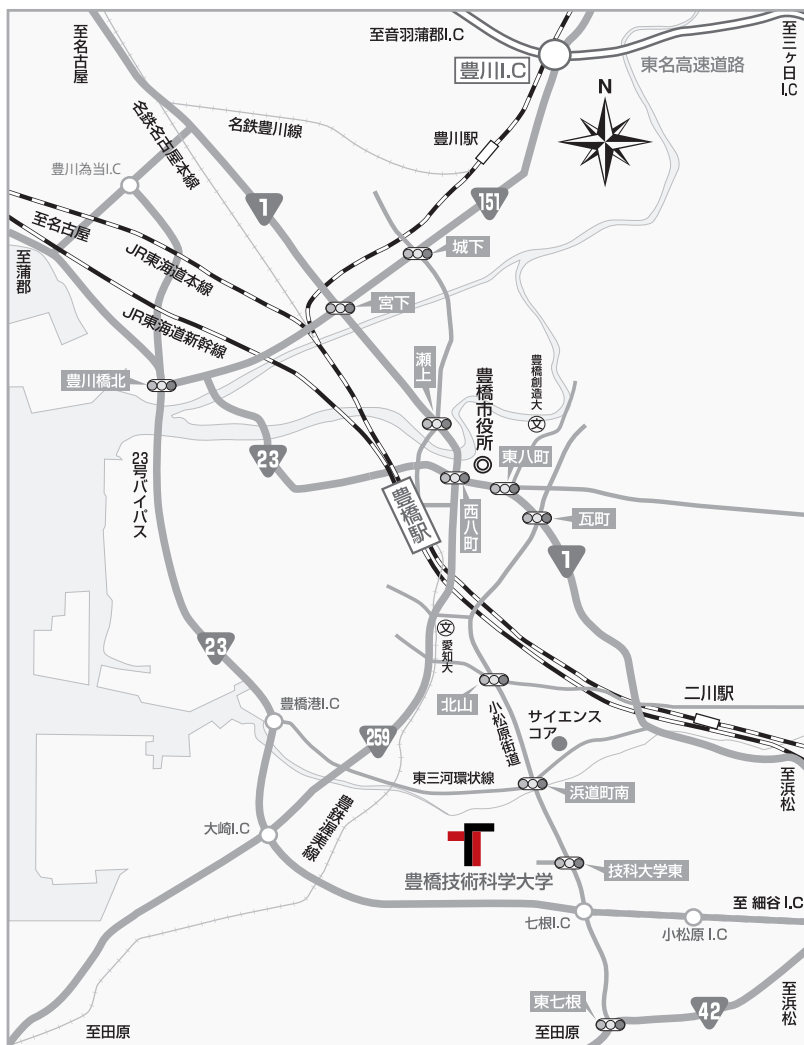
本学で出願を確認後、各入試毎に募集要項に記載のある受験票印刷可能日から一斉に受験票を配信します。インターネット出願システムよりダウンロードできる状態にしますので、必ず印刷し、試験当日持参してください(※郵送はいたしません)。

※受験票のダウンロードが可能になりましたら、出願時に登録したアドレスへメールで通知します。

【印刷に関する注意事項】 受験票は必ずA4用紙に片面印刷にしてください。



国立大学法人 豊橋技術科学大学交通案内

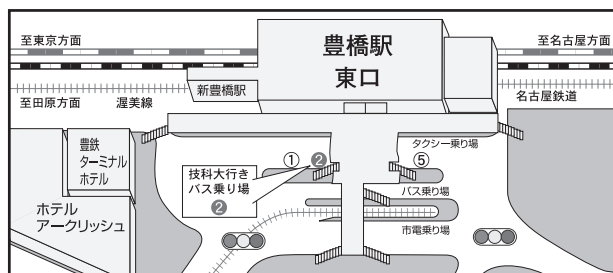
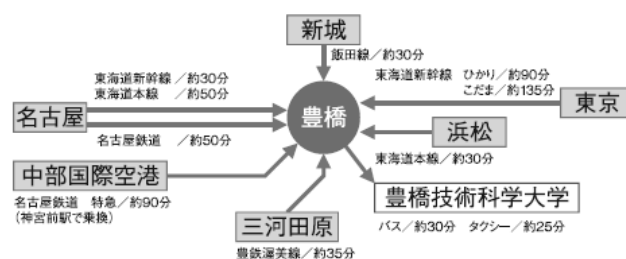


豊橋駅まで

- 東海道新幹線** 名古屋駅から豊橋駅まで約30分
東京駅から豊橋駅まで「ひかり」で約90分
「こだま」で約135分
- 東海道本線** 名古屋駅から豊橋駅まで新快速で約50分
浜松駅から豊橋駅まで約30分
- 名古屋鉄道** 名鉄名古屋駅から豊橋駅まで特急で約50分
中部国際空港駅から豊橋駅まで
特急で約90分（神宮前駅で乗換）

豊橋駅より

- バス** 豊橋駅東口2番のりばから
豊鉄バス豊橋技科大線に乗り
『技科大前』で下車 所要時間約30分
- タクシー** 豊橋駅前から南へ8.2km 約25分
(豊橋駅～技科大 約3,000円)
- 自家用車にて**
東名高速道路 音羽蒲郡I.C.または豊川I.C.から約1時間



お問い合わせ先

〒441-8580

愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1

豊橋技術科学大学 入試課

TEL : 0532-44-6581

FAX : 0532-44-6582

E-mail: nyushi@office.tut.ac.jp

URL: <https://www.tut.ac.jp/>